



2年間の任期を終えて 各専門室活動報告

コミュニケーション活動が活発であるということは、専門室の活動が活発であるということとす。裏方で支えてくださったコミュニケーション委員の皆さまに感謝申し上げます。

■教育振興室

副室長 池田 和利

この二年間は「いにしえロード」一色であったといえます。

協賛団体であるJRとの協議、「ロード」エリアの地域の方々との連携、迫りくる日程に焦る想い・・・。今は、一つひとつが皆懐かしく感じてなりません。

無力な私たちを、ゴールまで導いてくださった熱き地区の皆さま方全員に、心から感謝いたします。

■ふれあい推進室

室長 品田 純子

地区民親善体育祭、民謡街頭流しへの参加、盆と暮のコミュニケーション一斉清掃、地区民の親睦旅行。そして今年度は、冬にコミュニケーション祭りとしてスノーフェスタを同時開催いたしました。スノーフェスタでは、雪の毎日に疲れていた皆さんの顔が、明るい笑顔に包まれていました。

「北条の絆」を感じ、私自信も楽しい二年間を過ごさせて頂きました。地域の皆さま、スタッフの皆さま本当にありがとうございます。

■安全対策室

室長 吉川 公一

今年度は、防災科研との

北条地区 コミュニティ 振興協議会 TEL25-3355 北条ネット kitajo.net ちからいし まな

共同作業で、手いっぱい的一年でした。

各町内会長の協力で作成した、受援マップの検証には、県外から二十五人もの参加がありました。子ども達を中心につくばに出かけた災害疎開体験。地域と学校が一体となった、四年に一度の防災訓練。小学生がスノーフェスタで発表してくれた防災ラジオドラマ。市民レポーター養成講座のまとめとして、二月に発行された山なみ特集号。

また、東京での防災フォーラムがきっかけで、奄美大島にまで交流の輪が広がりました。地震後の、防災活動が評価された総理大臣表彰は、喜びと共に責任も感じます。

北条ネットには新年度から、北条中学校生徒会の参加が期待されています。これまでの共同事業で何を得たのか！いよいよ、仕上げの年に入ります。

■山なみ編集室

室長 星野 和彦

コミュニケーション委員の任期である二年も、いよいよ終了となります。

一年目は印刷ミス等により、次号の紙面でお詫びのコメントもしばしばあり、大変申し訳ありませんでした。二年目はミスも少なく、ここまで発行することができました。この間、原稿依頼を快くお受けいただいた皆さま、大変ありがとうございました。

新年度は、歴史ある「山なみ」、そして「北条ネット」を有効に活用し、地域の皆さまに情報発信をしてまいります。

また、地域にお知らせしたい情報がありましたら、ご連絡いただくと幸いです。

■ちからいしの会

会長 神林 良定

今年度のつららなすの共同圃場での栽培は、不作となりました。原因としては、つららなすは減農薬、有機での栽培のため堆肥も多め

にしたことや、マルチ掛等により畑内部のガスの発生によるものと思われます。新年度は、このような事がないように決心いたしました。そして、もっと県外などにも販路を広げ、漬物加工などの技術開発にも進んで取り組んで行きたいと思えます。

■暖暖

店長 中川ナツ子

いつもご利用いただきありがとうございます。

私たちは、毎日メニュー作りには試行錯誤で取り組み、高齢者への弁当作り・配達をしています。お客さまより喜びの声が聞け、私たちも嬉しく思っています。

地元で収穫できる野菜をたくさん取り入れ、新しい献立作りに挑戦しています。地域の皆さまより、ご意見や知恵お力を借りてこれからも「地域の台所」として、多くのお客さまからご利用いただきたく思います。皆さまのご来店を、心よりお待ちしております。